

エムデンは地球温暖化防止のために取り組み続けます



社会環境報告書 2021

エムデン無線工業株式会社
EMUDEN CORPORATION

【目次 (Contents)】

- P.2 会社概要
- P.3～ P.4 経営理念／社是／経営ビジョン／2021年経営方針／
行動指針3S／エムデン無線工業が大事にする3つの
コト／コンプライアンス／コーポレートガバナンス
- P.5 環境基本理念／品質・環境方針／環境目的及び目標
- P.6 エムデン無線工業とSDGs (持続可能な開発目標)
- P.7～P.13 マネジメントシステム状況
- P.14～P.16 環境保全活動
- P.17～P.19 環境負荷データ
- P.20 環境負荷物質管理
- P.21～P.22 環境意識啓蒙
- P.23～P.24 地域・社会貢献活動
- P.25～P.28 従業員との関わり
- P.29 外部コミュニケーション／公正な取引
- P.30 環境活動の歩み

会社概要

名称：エムデン無線工業株式会社（英文社名：EMUDEN CORPORATION）

所在地：（本社・工場）

〒252-0801

神奈川県藤沢市長後1277

（西日本営業所）

〒536-0015

大阪府大阪市城東区新喜多2丁目6-8 ヤマトビル2F

事業内容：電子機器機構部品の製造・販売

主要製品：端子台、コネクター、ACインレット 他

設立：1963年10月19日

資本金：9,000万円

代表者名：代表取締役社長 柳田 康德

従業員：110名

関連会社：恵夢電香港有限公司

伊睦旬電子貿易（深圳）有限公司

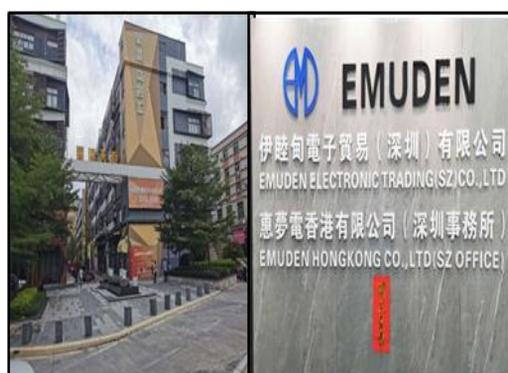
一人有限会社エムデンベトナム



本社・工場



西日本営業所



伊睦旬電子貿易（深圳）有限公司
恵夢電香港有限公司



一人有限会社エムデンベトナム

国内や海外の情勢に対応出来るように、エムデンベトナムの工場を立ち上げ、様々なニーズに応えられるように、エムデングループ一丸となって、日々邁進しております。

経営理念

我が社は小さな部品作りを通し、常に心をこめ研鑽を重ね、独創的な技術（技能）を養い、駆使してエレクトロニクスの発展と社会文化の向上に貢献する。

社是

- 一、誠心誠意
- 一、研鑽
- 一、独創

経営ビジョン

- ・ グローバル企業への成長
- ・ カスタマーファースト
- ・ お客様の課題に対して価値ある提案をして課題解決を実現できる企業
- ・ 人を活かす企業
- ・ 経営品質が高く評価され業界の技術革新のリーダーを目指す
- ・ 斬新な製品や技術が生まれるような創造性豊かな経営を目指す

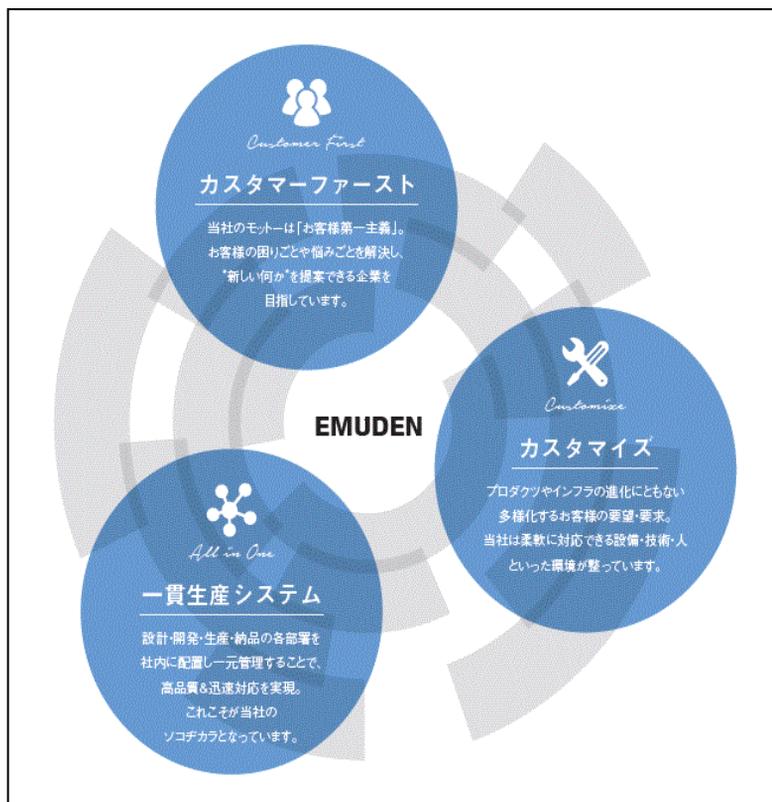
2021年経営方針

- 一、中期経営計画の実践

行動指針 3S

1. SPEED（スピード）
レスポンスを早くする
2. SERVICE（サービス）
お客様へのサービスを欠かさない、技術的サービス、品質環境サービス
3. SATISFACTION（サティスファクション）
満足度を与える／お客様に満足してもらえる製品を提供し、行動する
／顧客満足・従業員満足

エムデン無線工業が大事にする3つのコト



当社は「誠心誠意」「研鑽」「独創」の社是のもと、この「カスタマーファースト」「一貫生産システム」「カスタマイズ」をもってお客様の困り事を一緒に考え、課題解決を実現する製品を提供していきたいと考えております。

コンプライアンス

▼ 遵法の姿勢や人権の尊重

2006年に、企業の社会的責任履行の思想として最重要視して制定したエムデンの「倫理規定」のなかの条項の一つに「社会における安全、環境および商行為に関する法律と規則を常に遵守すること」と遵法の姿勢を強く説いています。企業における会計や税務処理などにおける社会倫理を無視した行為ばかりでなく、お客様や取引先との倫理を無視した交際や癒着、便宜供与をエムデンは強く排除しています。また、同規定の中には「社員のすべての考えと行動の基底に生命の尊厳と人権の尊重を常に置くこと」と人権の尊重を掲げており、性別、年齢、身体障害、肌の色、人種、宗教、国籍、職業、婚姻などに基づくいかなる差別も行ってはならないと国際感覚の意識レベルを定めています。

コーポレートガバナンス

▼ 内部統制の定義

エムデンでは、企業の内部統制を、遵法姿勢をベースにおいた各業務目標の達成と財務内容の信頼性の確保を通じて、全社の事業運営の実効性を実現することにより社会的に存在価値を有する企業となること、と認識しています。

環境基本理念／品質・環境方針

【 理 念 】

エムデン無線工業株式会社は、「小さな部品作りを通じ社会文化の向上に貢献する。」との経営理念に基づき、総合電子パーツメーカーとして設計から生産までの一貫体制を一段と充実させ、品質の向上と環境保護への取り組みを経営の重要課題として捉え、その活動に参加します。

【 方 針 】

端子台、コネクタ、回路盤等の開発・製造・販売において、顧客満足を最優先とした課題解決型の事業活動を行い、年度経営方針（中期経営計画の実践）を立案し、品質目標を設定します。

また、事業が環境に与える影響を考慮し、汚染の予防を行うと共に、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標を設定し、見直しを通じ、QMSとEMSの継続的改善に努めます。

1. 要求事項を順守します

品質や環境に関連した法規制及び条例は当然のこととして、顧客要求事項、ISO9001及びISO14001並びに当社の要求事項を順守します。

2. 環境に配慮した製品を開発します

環境や人に影響を及ぼす事故を防止するために、環境負荷物質の管理を徹底します。

3. 循環型社会づくりに努めます

環境に配慮した商品・サービスの購入を推進し、廃棄にあたっては、適正処理を図り、リサイクル・リユースなど資源の有効活用を積極的に実施し、環境保護に努めます。

4. 地球温暖化の防止に努めます

省エネ設備の導入や生産効率の向上を図り、省エネを推進し、気候変動の緩和に努めます。

5. 有益な環境影響を増加させます

本来の業務を継続して改善するように努めます。

6. 品質・環境教育、自己啓発活動を展開します

全従業員及び当社で働く全ての人の品質や環境意識を高め、一人ひとりが広く社会に目を向け、自らが品質活動や環境保全活動を遂行出来るよう自己啓発を支援します。

7. 情報を公開します

本品質・環境方針は、各種会議、職場内掲示などを通じ、周知・徹底を図ると共に、外部利害関係者にも開示します。

環境目的及び目標

2020年度の環境目的及び目標は0件にて達成しました。

引続き継続して取組み、品質・環境会議にて毎月進捗確認をして参ります。

| 方針 | 目的 | 目標 〈実績〉 | 目標 | 指標 |
|-----------|--------------|---------------------------|-------------------------|-------------|
| 環境負荷物質の管理 | 環境に関する環境事故防止 | 2020年 環境事故件数 〈実績0件〉 | 2020年 環境事故件数 0件／年 | 件数 (件／年) |

エムデン無線工業とSDGs (持続可能な開発目標)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



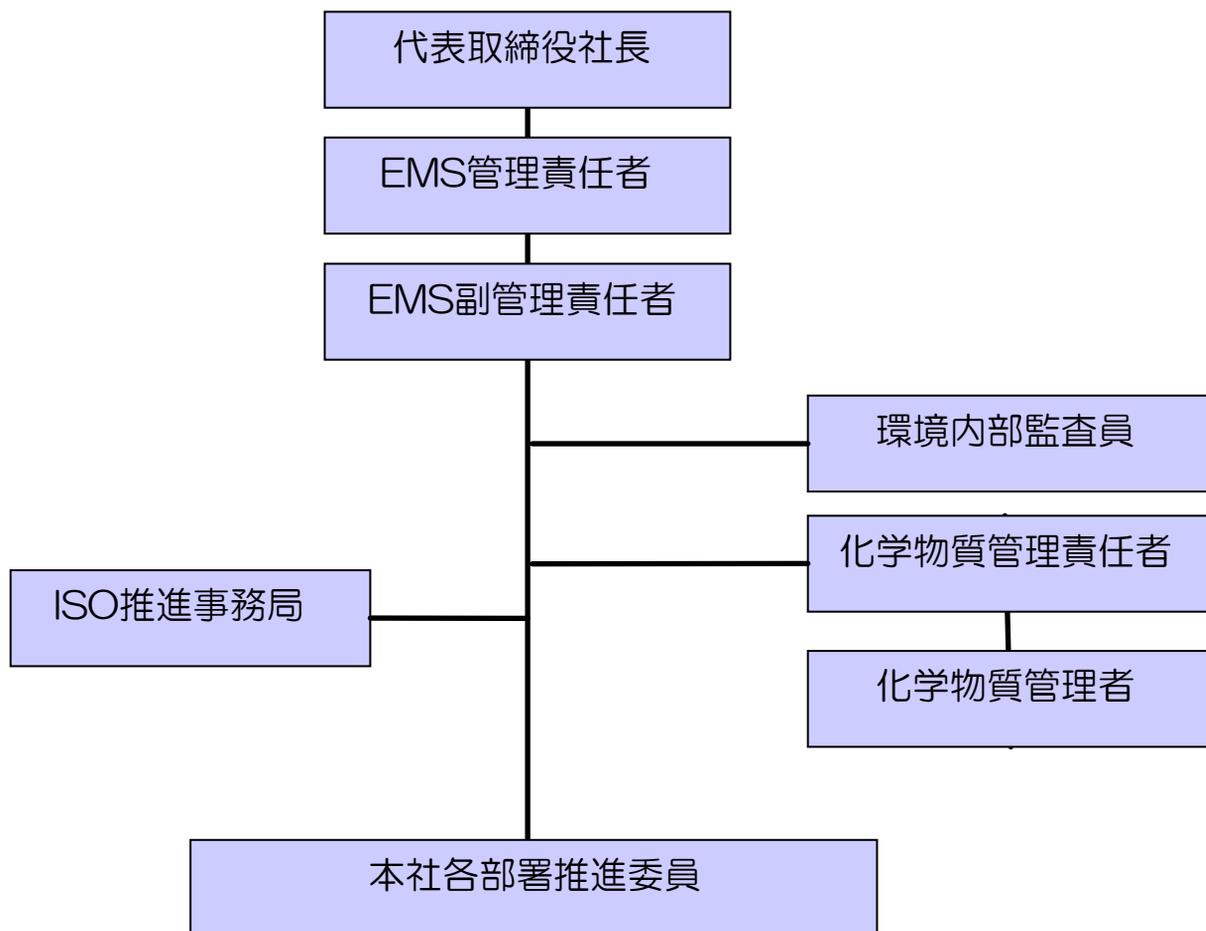
SDGs (エスディージーズ) は「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月、ニューヨークの国連本部で行われた国連サミットで採択された、国連加盟193カ国が達成を目指す2016年から2030年までの国連目標です。17の目標と、それを達成するための169のターゲットを設定しています。

当社でも、これらの問題を「自分ごと」として考え、よりよい未来を目指すための世界共通の17の目標に取り組んで参ります。

マネジメントシステム状況

<環境保全活動推進体制>

当社では、EMSの最高責任者である社長が品質・環境方針等を決定し、以下の体制にてEMSに関する諸施策を各部門に展開しています。



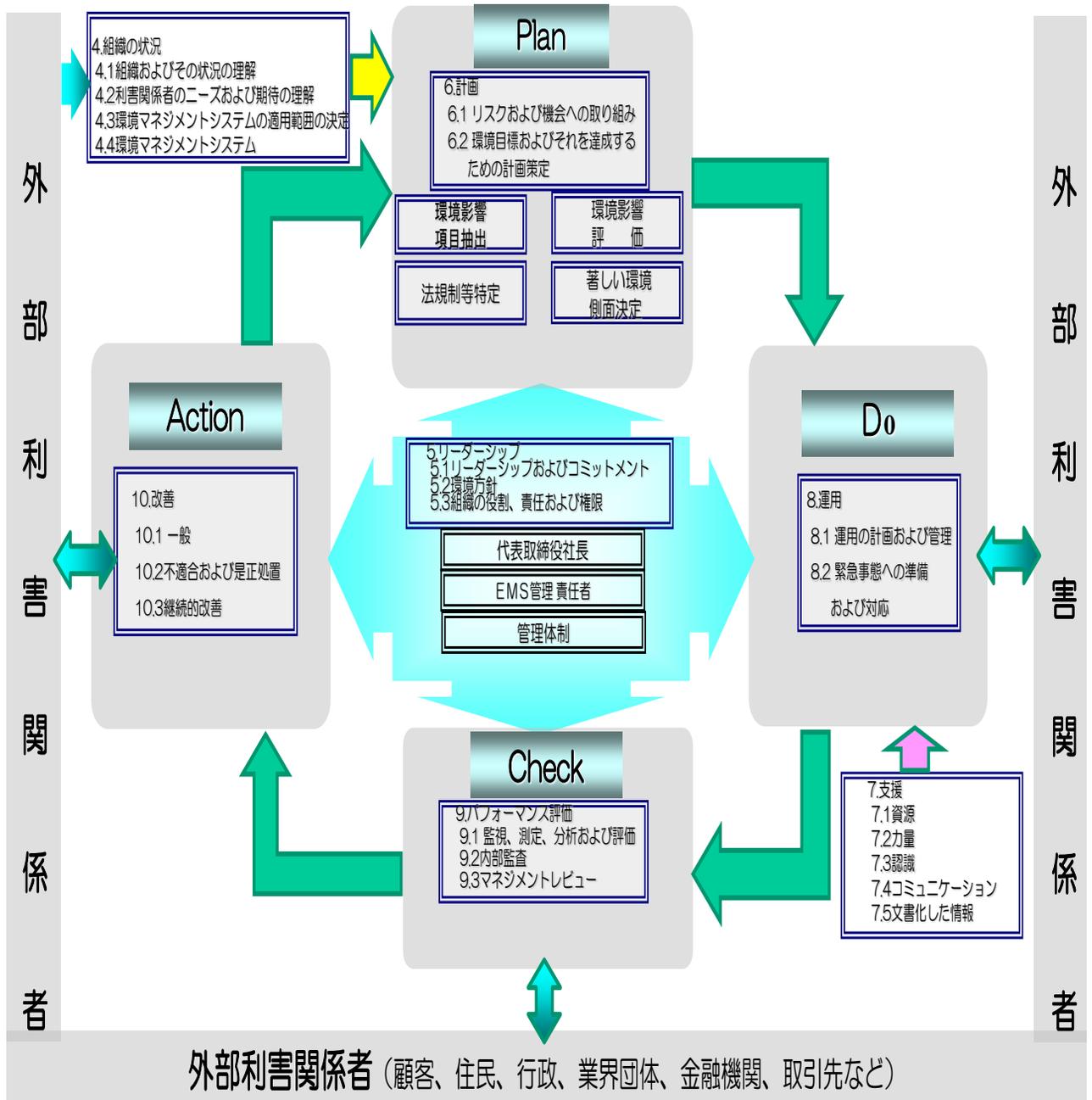
<ISO14001 認証>

当社では、国際規格ISO14001等に基づく環境マネジメントシステムを構築し運用しています。マネジメントシステムの活用と環境教育の推進などを通じて、持続的発展が可能な社会の構築と環境に配慮した「モノづくり」をめざした環境経営の推進と環境パフォーマンスの向上活動を継続して行っています。また、2018年1月に2015年度版を認証取得致しました。

| 認証取得 | 取得年月日 | 認証番号 | 対象範囲 | 登録機関 |
|----------|-------------|---------|--------------|--------------|
| ISO14001 | 2003年11月18日 | E03-357 | 本社工場 第二工場 | (財)電気安全環境研究所 |

マネジメントシステム状況

<環境マネジメントシステム運用>



2003年にISO14001の環境マネジメントシステムを認証取得してから、適切にチェックするため、毎年定期的に環境内部監査、ISO審査機関による外部審査を実施し、環境マネジメントシステム運用について継続的な改善に取り組んでいます。また、社長が年2回現場、現物、現状を自らパトロールするとともに、品質・環境会議においてEMSの継続的改善のためのPDCAの進捗確認及び検討をしております。

マネジメントシステム状況

<法規制の順守>

環境管理活動において順守すべき法規制に関しては、月1回環境法制定・改正状況情報を入手し、確認を実施しています。

当社に関連する法規制及び要求事項は法規制等リストに登録し、年1回順守評価を実施して規制を逸脱することのないよう管理しています。

◆産業廃棄物の管理

当社は産業廃棄物を委託し処理を行っていますが、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を適切に管理を行うとともに、産業廃棄物の交付状況を毎年、期日迄に産業廃棄物管理票交付等状況報告書にて報告しております。

2020年は4月に報告を行っております。

また環境省のガイドラインにより、委託業者から廃棄物データシート(WDS)のご提供をいただき、適正な管理を行っております。

◆消防用設備の管理

消防用の設備については年2回法定で定められた周期で点検を行い、点検結果については定められた期間ごとに報告を行いますが、2018年12月に報告を行っております。次回は、2021年12月に報告を行います。

◆臭気、騒音、振動

臭気については外部の専門機関へ依頼し、騒音、振動については当社において定められた期間にて自主的に実施し、規制値内であることを確認し、また監視及び予防につとめております。

◆地下水の管理

工業用用水として、地下水を利用しておりますが、地盤沈下、地下水の枯渇等に影響を与えないように、日常として採取量等の測定を実施し、毎年1月迄に報告を行っております。

◆指定事業所に係る化学物質管理状況報告書

神奈川県生活環境の保全等に関する条例改正により、平成23年度から指定事業所の設置者は、3年に1度、化学物質の自主的な管理の状況を報告することになりました。当社の直近の報告は、2020年8月に完了しております。

また 次回の報告は、2023年8月に予定しています。

マネジメントシステム状況

<環境マネジメントレビュー>

環境マネジメントシステムが継続して適切かつ、効果的に運営されることを確実にするため、経営者が見直す際の環境マネジメントレビューを毎年12月頃に実施しております。フォローアップが必要となる事項については、次年度においてレビューを行います。

<環境内部監査>

環境内部監査は年1回実施しておりますが、有益な側面を含め、環境パフォーマンスを組織的かつ継続的に改善するシステムが機能しているかどうかの確認はもちろんのこと、結果としての環境パフォーマンスの向上、順法の維持等を確認しています。また、内部監査員の増員も進めており、毎年1名以上の資格取得を目指して教育訓練を計画しており、今年度は2名の増員となりました。

| 監査結果 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|-------|-------|-------|
| 指摘事項件数 | 0 | 4 | 3 |
| 是正完了件数 | 0 | 4 | 3 |

<環境外部審査>

2020年度はサーベイランス審査として、活動の成果、目的・目標の集約状況、法的要求事項の順守性、内部監査の有効性、マネジメントレビューの有効性、マネジメントシステムの継続的改善について審査を受けました。結果、組織のマネジメントシステムは規格要求事項に基づいて適切に運用されており、有効に実施されていると評価されました。

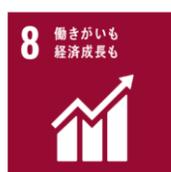
| 監査結果 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|-------|-------|-------|
| 適合件数 | 0 | 0 | 0 |
| 不適合件数 | 1 | 1 | 1 |
| 観察事項件数 | 1 | 0 | 1 |

マネジメントシステム状況

＜社長パトロール＞

当社のQMS、EMSが、継続して適切・妥当・有効であることを確実にするために、社長がQMS管理責任者及びEMS管理責任者等と共に主要プロセスの現場、現物、現状を定期的に自らパトロールし、確認しています。指導事項については、各内部監査や次回の社長パトロールでもフォローアップを行っております。

| 監査結果 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|-------|-------|-------|
| 良好事項件数 | 13 | 13 | 7 |
| 指導事項件数 | 51 | 10 | 7 |



＜改善提案＞

1970年以来、社内で従業員の改善提案を積極的に採用する「改善提案制度」を実施しております。改善提案推進委員は各部署より選出され、改善提案事務局は毎年各部署で交代をして努めております。審査は毎月1回「改善提案推進委員会」にて、公平、公正に行われております。

従業員の意識改善にもつながっており、環境面でも有益な影響を与えております。今年度は目標件数に届きませんでした。来年度では目標件数に届くよう、従業員に推進していきます。過去、3年間の改善提案の件数は以下の通りとなります。

| 改善提案 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|---------|-------|-------|-------|
| 目標件数 | 65 | 65 | 65 |
| 総提出件数 | 92 | 78 | 54 |
| 内環境提出件数 | 92 | 78 | 54 |

マネジメントシステム状況

<環境教育>

▼ マネジメントシステム研修

当社では、EMSに関する知識を普及啓発し、自覚させる目的で、全従業員(パートタイマー含む)を対象に階層別に環境マネジメントシステム研修を実施しております。新入社員や中途社員への教育は、新入社員または中途社員研修プログラムに組み込み実施しています。

2020年は7月の研修では、コロナ対策により人数を絞って行い、環境マネジメントシステムの必要性等の教育を実施いたしました。



▼ 緊急時対応訓練

想定される緊急事態について、環境に影響を及ぼさないよう、緊急時対応訓練の教育を毎年11月に継続的に実施しています。

油漏れを想定しての訓練



マネジメントシステム状況

<環境関連法令の順守>

当社では環境に関わる順守すべき法規制を一覧表にまとめ、定期的に順守状況を確認しております。順守内容によっては行政への届出、選任、規制値などがあります。

◆当社の事業と関連する主な環境法令

- 神奈川県生活環境の保全に関する条例
- 大気汚染防止法
- 自動車Nox・PM法
- 下水道法
- フロン排出抑制法
- 水質汚濁防止法
- 土壌汚染対策法
- 悪臭防止法
- 騒音規制法
- 振動規制法
- 建築物用地下水の採取の規制に関する法律
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 消防法
- 労働安全衛生法

<環境関連資格取得状況>

当社では環境関連の資格取得推進、資格保有者の増員に努めています。現在の環境関連資格保有者数は以下の通りです。

| 資格名称 | 取得者数 |
|--------------------|------|
| ■ 第1種衛生管理者 | 1 |
| ■ 安全運転管理者 | 1 |
| ■ 安全管理者 | 3 |
| ■ 防火管理者(甲種) | 1 |
| ■ 蛍光X線測定者(社内認定) | 4 |
| ■ ISO環境内部監査員(社内認定) | 20 |
| ■ 加熱脱離質量分析者(社内認定) | 2 |

環境保全活動

<環境保全姿勢>

当社では環境に関わる順守すべき法規制を一覧表にまとめ、定期的に順守状況を確認しております。順守内容によっては行政への届出、選任、規制値などがあります。

当社は、環境保全への取り組みとして「汚染防止」「省資源」「省エネルギー」を基本理念として、地球温暖化の一因となる温暖化効果ガス排出低減への取り組みに早くから積極的に注力しており、省エネ技術の開発ばかりでなく、電力や中水の効率的な利用を社内で推進しています。

2003年より2009年まで夏季期間展開して参りました「エコ・ルック月間」を一步推し進め、今日では四季を通して環境に順応した服装で、冷暖房の使用を控えるよう推進し、冷房設定温度を28度Cに、暖房設定温度を20度Cに定め、環境省が推進する地球温暖化対策のための国民運動(COOL CHOICE)に協力をしています。また、昼休みや休憩時間の消灯に加えて、段階的に省エネ型照明器具の導入も計画的に図っており、リサイクルやリユース可能な物品のグリーン購入にも努めています。

- ① 私達は電気を大切に使います
- ② 私達は石油を大切に使い、きれいな空気を守ります
- ③ 私達は水を大切に使い、きれいな海を守ります
- ④ 私達はゴミを減らし、資源を大切にします
- ⑤ 私達は環境にやさしい製品を開発します
- ⑥ 私達は周辺環境にも目を向け環境美化に努力します

環境保全活動

<WEB会議システムの活用>

弊社では、WEB会議システムを用いて、各拠点(西日本営業所や海外の現地法人)をつないで、必要な時に会議や打ち合わせを行っていましたが、今年度はコロナ禍により、お得意先様との打ち合わせ等にも積極的に利用しています。電車や車等の移動が不要のため、時間を有効に活用することができるだけでなく、交通費や渡航費などのコスト削減や、移動で使用する燃料のCO2削減など、環境面で大きな効果を発揮しています。



<防水工事の実施>

当社では、屋上や中央棟2F・3Fの喫煙スペースの防水工事を行い、水はけの悪さを改善し、台風や豪雨、降雪時の災害対策を行っています。



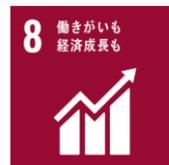
<構内植樹の剪定>

定期的に専門の業者様に植木等の消毒や剪定を行って頂き、構内における植樹の環境保護に努めております。



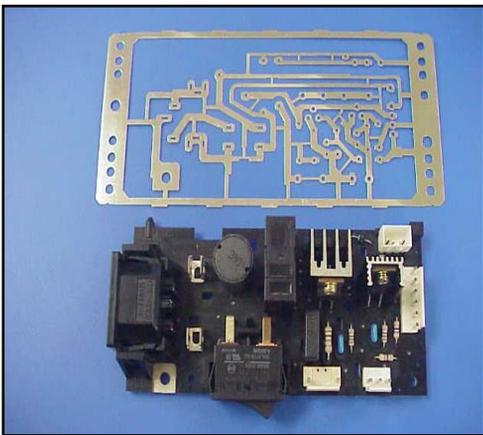
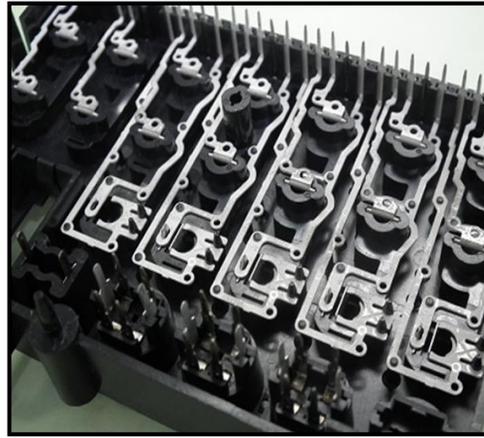
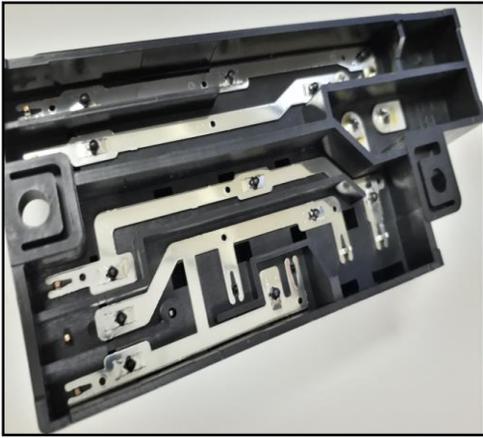
<タップ加工機排気システムの社内作製>

タップ加工時にタフレットに塗付した加工油が飛散するため、機械ごとに小型吸引器を設置していましたが、加工位置から離れていることで、吸い込みが不安定になっていたため、使用していない換気扇ダクトをそのまま利用し、新たな排気システムを社内作製しました。加工位置近くに設置でき、安定した吸引が可能になり、作業だけでなく、安全衛生の改善にもつながっています。



環境保全活動

<環境に配慮した製品（電路盤）>



インサート一体成形及びリードフレーム配線技術により、ハーネスレス・基板レス・ハンダレスが実現でき、製品コスト、組立工程を削減することが出来ました。また、塵、埃の浸入を防ぎ高い信性・安全性を確立。当社の材料と部品点数及び取引先様の工数を減らすことで、省資源、耐環境性技術が構築され、環境保全活動に貢献しております。当社は新しい技術提案をすることにより、お客様への環境影響的サポートにも結びついているものと考えております。

環境負荷データ

当社では、事業活動における環境負荷量を定期的に把握し、省資源、省エネルギー、廃棄物排出量などの削減活動を実施しております。

【調査期間：2020年度（2020.3.1～2021.2.28）】

【INPUT】

()内は前年実績

(エネルギー)

| | | | |
|------|--------------------------------------|------|-----------------|
| 電気 | 794,402kwh (757,151kwh) | ガソリン | 2,563ℓ (4,665ℓ) |
| LPガス | 19m ³ (21m ³) | 軽油 | 860ℓ (1,300ℓ) |

(OA用紙)

| | |
|--------------|---------------------|
| コピー用紙 (A4換算) | 158,000枚 (178,500枚) |
|--------------|---------------------|

(水資源)

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| 上水道 | 918m ³ (946m ³) | 地下水 | 838m ³ (879m ³) |
|-----|--|-----|--|

エムデン無線工業株式会社 本社・工場／第二工場
事業内容：電子機器機構部品の製造販売

【OUTPUT】

(廃棄物)

| | | | |
|-------|-------------|-------|-------------|
| 一般廃棄物 | 0.9t (0.9t) | 産業廃棄物 | 3.6t (3.6t) |
|-------|-------------|-------|-------------|

(リサイクル)

| | | | |
|------|-------------|--------|---------------|
| 段ボール | 6.8t (5.9t) | 古紙 | 1.0t (2.1t) |
| 廃プラ | 9.2t (8.9t) | 金属屑・鉄屑 | 92.0t (78.0t) |

(排水)

| | |
|-----|--|
| 下水道 | 918m ³ (946m ³) |
|-----|--|

(温室効果ガス)

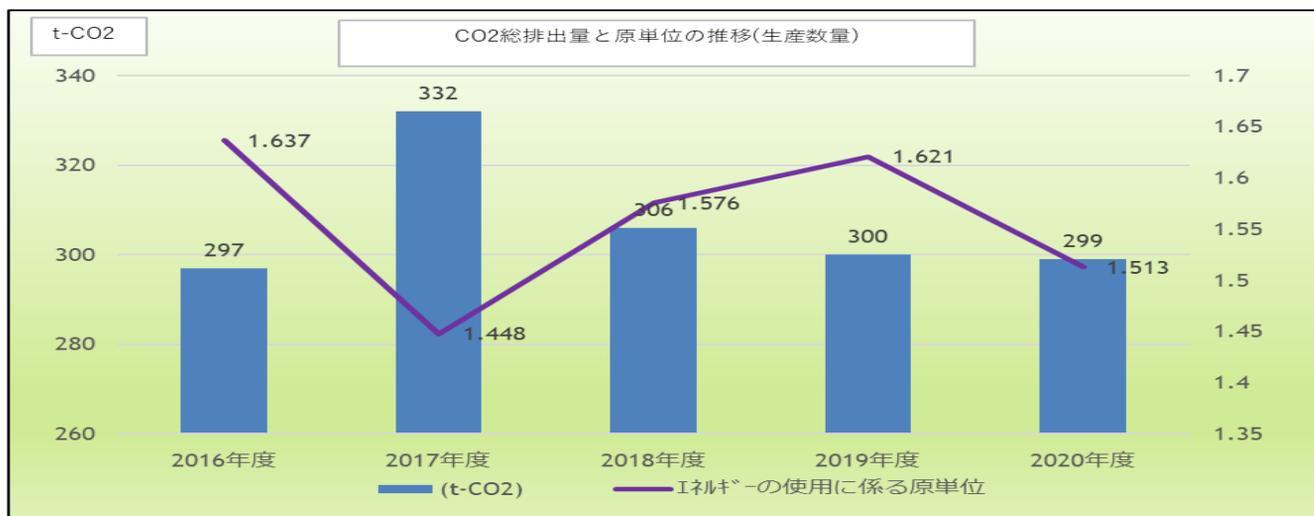
| | |
|-----------------|-------------|
| CO ₂ | 299t (300t) |
|-----------------|-------------|

(エネルギー使用量)

| | |
|------|-------------------|
| 原油換算 | 204.3kl (201.6kl) |
|------|-------------------|

環境負荷データ

【総エネルギー量】



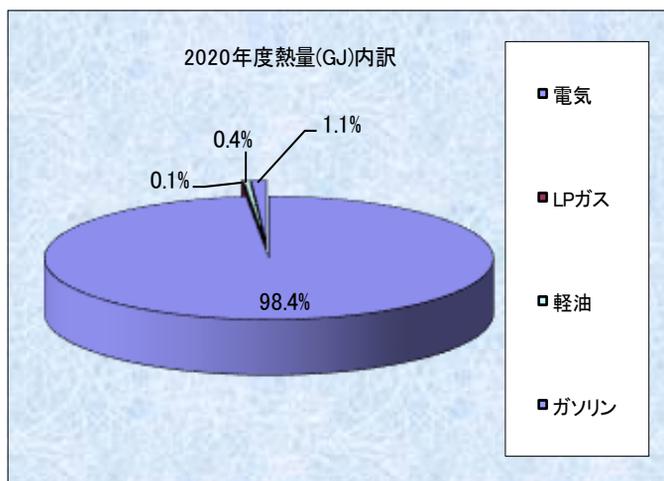
CO2総排出量と原単位の推移 (生産数量)



CO2排出量推移 (t)



総エネルギー量推移 (GJ)



2020年度CO2排出量内訳



使用電力量推移 (kwh)

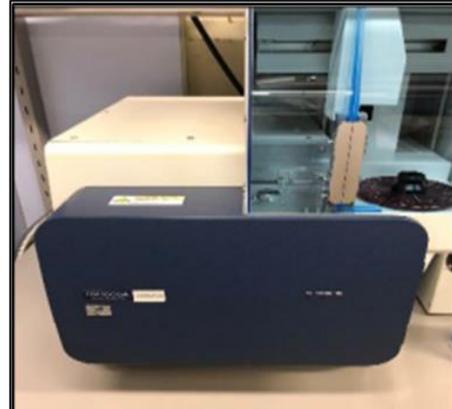
環境負荷物質管理

▼ 新規部品・新製品・量産品の管理



蛍光X線分析装置

環境負荷物質混入防止を目的とし、「蛍光X線分析」を実施する仕組みを構築し運用しています。当社の製品及び部品を構成する、部品・材料・梱包副資材等にRoHS指令等の禁止物質が含有されていない、又は閾値以下である事の検証をしております。また、環境負荷物質は環境管理ソフトでデータ化しており、調査等に迅速に対応できます。



加熱脱離質量分析装置

改正RoHS指令に伴うフタル酸エステル類4種の禁止物質の測定に対応する為、2019年5月に加熱脱離質量分析装置を導入いたしました。

▼アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)へ参加



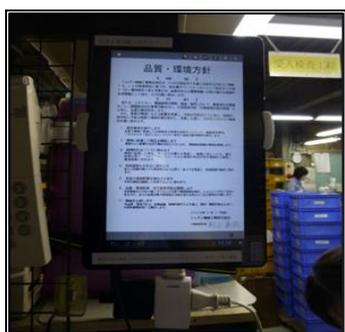
化学物質等の情報を適切に管理する事については、特に重要な課題であると捉えている事からアーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)に加入しております。

アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP: Joint Article Management Promotion-consortium) : 部品や成形品などが含有する化学物質情報の管理と、サプライチェーン間での情報開示と伝達の促進を目的とする民間の協議会

環境意識啓蒙

< I S O 関連掲示 >

全従業員がマネジメントシステム状況を把握する事ができるようにする為に、各部門の I S O の推進委員が主となって、伝達や掲示物を利用して周知を行っております。また一部の掲示場所については、タブレットを利用した電子化に対応しています。



< 品質・環境方針・環境目標カードの配付と徹底 >

品質・環境方針・環境目標カード

| | |
|---|---|
| <p>品質・環境方針 【理念】 略 (職場内掲示参照)</p> <p>【方針】</p> <p>前文 略 (職場内掲示参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 要求事項を順守します 本来の業務に関連した法規制及び条例は当然のこととして、顧客要求事項、ISO9001及びISO14001並びに当社の要求事項を順守します。 2. 環境に配慮した製品を開発します 環境や人に影響を及ぼす事故を防止するために、環境負荷物質の管理を徹底します。 3. 循環型社会づくりに努めます 環境に配慮した商品・サービスの購入を推進し、廃棄にあたっては、適正処理を図り、リサイクル・リユースなど資源の有効活用を積極的に実施し、環境保護に努めます。 4. 地球温暖化の防止に努めます 省エネ設備の導入や生産効率の向上を図り、省エネを推進し、気候変動の緩和に努めます。 5. 有益な環境影響を増加させます 本来の業務を継続して改善するように努めます。 6. 品質・環境教育、自己啓発活動を展開します 全従業員及び当社で働く全ての人の品質や環境意識を高め、一人ひとりが広く社会に目向け、自らが品質活動や環境保全活動を遂行出来るよう自己啓発を支援します。 7. 情報を公開します 本品質・環境方針は、各種会議、職場内掲示などを通じ、周知・徹底を図ると共に、外部利害関係者にも開示します。 <p>2020年3月1日改訂 代表取締役社長 柳田 康徳</p> | <p style="text-align: right;">2020年度</p> <p>部門の品質目標</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p>グループの品質目標</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p>私の品質目標</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> |
|---|---|

全従業員が環境保全意識を高めて行動するために、「品質・環境方針」および自分自身の「環境目標」を記載した、環境目標カードを携行しています。

環境意識啓蒙

<節電への励行>

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



地球温暖化防止の為、社内館内に節電のポスターを掲示して、顧客先、お取引先様にもご理解ご協力頂きながら、社員に節電を励行しております。また各スイッチ部分に表示をすることにより、エアコン箇所では、不必要に温度を上げたり下げたりすることをやめ、社内で決められた設定温度を守るようになり、照明はLED照明を継続的に導入し、お昼休み、帰社時等には消灯するという社員の電力消費量削減に対する意識の啓発に繋がってきています。夏季期間においては、地球温暖化の防止や節電の取組みの強化が必要とされることから、5月から9月にクールビズを実施し、従業員はノーネクタイ、ポロシャツ、Tシャツ、チノパン、ジーンズなどを着用して、空調を控えるよう努めています。



<朝の10分間5S活動の実施>

当社では 始業開始の10分間を「朝の10分間5S活動」と決めて、毎朝 パートさんも含め、全従業員で実施をしています。活動は3年目を迎え、社内や外周の清掃だけでなく、自部門の管理書類等の整理や電子データ化への移行も進めており、DX推進に繋がっています。

5S活動を実施することにより、在庫管理などの作業効率の改善につながっております。

8 働きがいも
経済成長も



地域・社会貢献活動

<エコキャップ収集活動>



エコキャップ収集活動は開始より10年を迎えました。団体に寄付をしたペットボトルキャップは、売却益で海外の医療支援や障害者支援、子供たちへの教育等、様々な活動に役立てられています。従業員全員で参加できる活動であり、年間約10,000個程度のキャップを集めております。これらのキャップを焼却処分した場合のCO2発生量も削減する事ができるため、環境面でも有益な活動となります。今後も継続して活動を進めていきます。



<使用済切手・トナー、インクカートリッジの収集>



当社では、使用済切手回収BOXを設置し、集められた使用済の切手は取引先様を通じて、海外の協力団体に寄付をし、南アジアへの方の自立支援や現地プロジェクト等に役立てられています。また、使用済みのトナーやインクカートリッジを集めてNPO団体に寄附をし、売却益を国際協力活動に役立てる取り組みも始めており、今年度も数回寄附を実施しています。



地域・社会貢献活動

<寄付活動>



当社は毎年少額ながら、日本赤十字社神奈川県支部に寄付をしています。地震や豪雨災害などの救援活動をはじめ、国際救援、開発協力等、様々な活動に役立てられています。

<避難訓練・自衛消防活動の実施>

防災訓練は、想定される災害および事故に対して迅速、かつ適切な対応と処置を体得することで、災害時の従業員の安全と二次災害や工場周辺の環境への影響を防止することを目的に行っています。そして、万が一の火災の発生に備え、初期消火、消防署への連絡、避難誘導が効率的に行えるよう、自衛消防隊を編成し、工場内で消防訓練の実施や、藤沢市で行われます自衛消防隊操法大会へも参加しております。今年度はコロナ禍により、大会の中止や、避難訓練の実施を見合わせましたが、通常 防災訓練実施の際は、防災設備の業者様により、消火器の取り扱い方法について説明して頂き、職場だけでなく、家庭へ帰っても役立てられるよう、訓練しております。

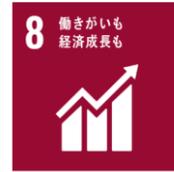


自衛消防隊員による放水訓練や消火器の取り扱い説明と実施訓練風景

従業員との関わり

<創立記念式典>

今年度の第57回創立記念式典につきましては、感染防止の観点から開催を見合わせ、業務で頑張られた方、改善提案の提出で功績を残された方、勤続20年勤められた方を対象にした表彰のみを、人数を制限して行いました。



<ワークライフバランス>

▼ かながわ子育て応援団



認証マーク



エムデン無線工業株式会社は、神奈川県から2012年3月30日付けで「神奈川県子ども・子育て支援推進条例」に基づく推進事業者として『かながわ子育て応援団』の認証を受けました。これからも従業員のワーク・ライフ・バランスの実現や、仕事と子育ての両立を支援していくとともに、仕事と生活の調和の実現に向けて、より働きやすい職場環境の提供を進めて参ります。

▼ 仕事と育児の両立

育児休業制度や復帰後の短時間勤務制度など、子育て世代を支援する制度により、仕事と育児の両立支援を行っています。当社でも、育児休業終了後、短時間勤務制度を利用して、仕事に復帰している従業員が複数名おります。

▼ ノー残業デー

当社は、毎週水曜日をノー残業デーとして設定し、仕事の効率化とワークライフバランスの向上に努めております。

従業員との関わり

<労働安全・衛生の取組み>



[方針]

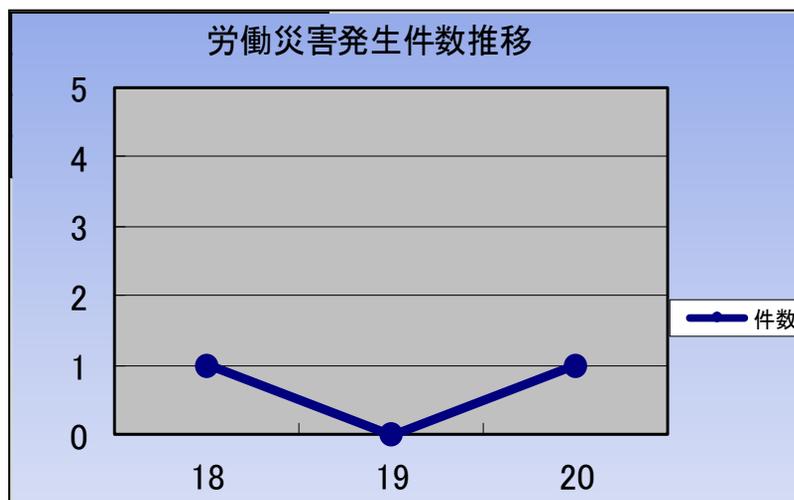
安全衛生活動は、企業経営の基盤であり、わが社で働く人及び地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の安全衛生を管理し、自負できる職場を目指します。

1. 安全衛生関係法令及び社内基準を遵守し、より一層の安全衛生管理に努めます。
2. 職場の危険有害要因の明確化と対策の優先度を定めるリスクアセスメントを実施し、“災害ゼロ”から“危険ゼロ”の安全で快適な職場へ進化させます。
3. 全社員のみならず、構内で働く関係者の協力の下にコミュニケーションを図り、全員参加の安全衛生活動を実施していきます。
4. 従業員の教育及び安全衛生活動を通じて、安全衛生意識の高揚に努めます。
5. 安全衛生活動の実行に当たっては、適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。

▼ 安全衛生委員会

安全でより良い職場環境を築くため、安全衛生委員会を毎月開催し、各職場での問題点や危険が予測されるところと思われる事柄については、各委員会メンバーより報告してもらい、審議して、改善の方向付けを行う取組みをしております。

今後は安全衛生委員会にて審議した事柄を全従業員に周知徹底をして、より高い質の向上を図る目的として、リスクアセスメントの手法を取り入れ、安全衛生管理を強化していきます。



◆過去3年間の労働災害発生件数は上記の通りとなります。

従業員との関わり

<心と身体の健康への取組み>



当社では、社員が健康で安心して働けるように、法律で定められた通りの定期健康診断を毎年9月頃に実施しています。

また、35歳以上の社員を対象にした、生活習慣病予防健診の受診も、毎年3月に実施しております。協会からの補助に加え、会社も補助を行って個人の負担を軽減しております。

必要により、外部のカウンセラーを利用することもでき、社員の心と身体の健康への取り組みを展開しております。



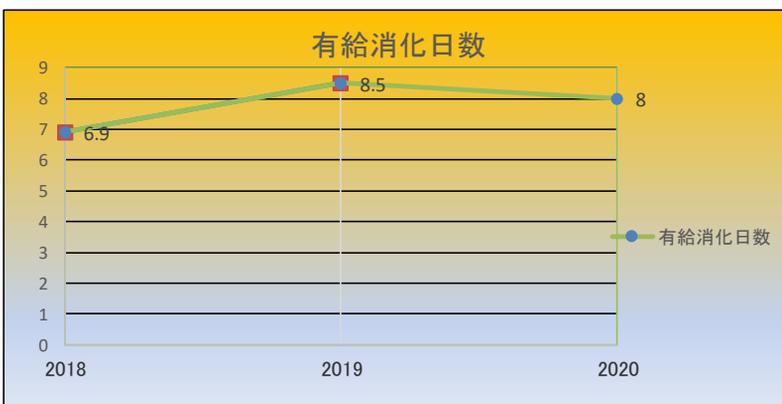
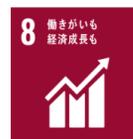
<ストレスチェックの実施>

当社では毎年11月にストレスチェックを実施して、状況を所轄の労働基準監督署に報告しております。

ストレスチェックの実施により、従業員がストレスや自分の健康について、認識してもらう良い機会と捉えております。

毎年実施する事で、メンタルヘルスの不調を未然に防ぐ効果にもつながっていると思います。当社としましては、今後もメンタルヘルス対策を強化し、職場環境の改善に努めていきたいと考えます。

<有給取得状況>



計画的に有給の取得を行う事によって、ワークライフバランスの向上に結びつき、労働生産性の改善にもつながってきます。

◆過去3年間の有給消化日数は上記の通りとなります。

従業員との関わり

<研修制度の実施>



企業の持続的な発展のためには自ら考え実行できる人材を育成していくことが必要と考えています。業務を通じて上司から部下へ指導するOJTを中心とした育成をはじめ、そのOJTを支える専門的な知識の取得を目的とした外部研修（Off-JT）等を実施しています。

また、積極的な自己啓発を支援するため、会社が推奨した講座には受講料や検定料を補助して技能資格をバックアップしております。

2020年度は神奈川県スキルアップセミナーを利用して、業務に関連する講座を多くの従業員が受講しました。オーダー型のスキルアップセミナーでは、専門的な機械作業など、受講者のレベルに合わせた教育を受けられるため、特に新入社員や中途社員の教育に効果を上げています。

| | 階層別 | 職能別 | 課題別 | 自己啓発 |
|----------------|------------------|-------------------|-------------|-----------|
| 事業部長 | 上級管理者研修 | 各分野における知識習得のための研修 | QMS・EMS関連教育 | 資格取得・通信教育 |
| 部長 | | | | |
| マネージャー | 管理者研修 | | | |
| リーダー | 管理監督者研修 | | | |
| チーフ | | | | |
| 中堅社員 | 中堅社員研修 | | | |
| 新入社員 中途社員研修 | 新入社員研修 中途社員研修 | | | |
| 内定者 | 入社前研修 | | | |

外部コミュニケーション

<外部からの苦情状況>

行政機関、顧客、地域住民の方からの環境に関するお問い合わせ、ご要望の他にお客様からのご要求に対して個別に対応しております。

2020年度の苦情に関しましては、ございませんでした。

| | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|---------|-------|-------|-------|
| 地 域 住 民 | 0 | 0 | 0 |
| 顧 客 | 0 | 0 | 0 |
| 公 的 機 関 | 0 | 0 | 0 |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 |

公正な取引

<お取引先様に対する社会的責任の取り組みへのお願い>

近年、企業をとりまくステークホルダーのCSRの社会的責任に対する関心の高まりから、業種を問わず、企業や経済団体でのCSR推進活動が本格化してきました。私たちも、企業の社会的責任への取り組みを強化し、社会の持続的発展への貢献に向けて継続的に取り組んで参りましたが、今後はお取引先様を含むサプライチェーン全体においてもCSRに配慮した調達活動が求められるものと認識しております。

お取引先様におかれましてもCSRガイドラインにご賛同いただきたく、また、ご理解頂けるよう努めて参ります。



環境活動の歩み

| 年度 | 主な活動内容 |
|------|---|
| 2003 | <ul style="list-style-type: none"> ・ リコー様、ソニー様、富士通様のグリーンパートナーの認定を受ける ・ ISO14001:1996を取得 ・ エコ・ルック月間開始 |
| 2004 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全製品の鉛フリー化完了 |
| 2005 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001:2004に更新 |
| 2006 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 蛍光X線分析装置導入 ・ ISO14001:2004年版 第一回更新完了 |
| 2009 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO14001:2004年版 第二回更新完了 ・ エコキャップ収集活動開始 |
| 2011 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ハイブリッドカー（本社）を初めて導入 |
| 2012 | <ul style="list-style-type: none"> ・ JAMPのSME推進プロジェクトメンバーによる製品含有化学物質管理のセミナーを取引先協力会社様に対し開催 ・ PCB機器の処分完了 ・ 「環境報告書2012(初版)」を発行 ・ ISO14001:2004年版 第三回更新完了 |
| 2013 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境報告書2013(2版)」を発行 ・ オフィス(西日本営業所)にLED照明を導入 ・ ハイブリッドカー（本社）を導入 |
| 2014 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ハイブリッドカー（西日本営業所）を導入 ・ 「環境報告書2014(3版)」を発行 |
| 2015 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境報告書2015(4版)」を発行 ・ ISO14001:2004年版 第四回更新完了 ・ 蛍光X線分析装置更新 |
| 2016 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会環境報告書2016(5版)」を発行 ・ ISO14001 2015版移行準備開始 ・ 中央棟空調機更新工事により、全棟空冷式タイプのエアコンに切替え完了 |
| 2017 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会環境報告書2017(6版)」を発行 ・ ISO14001:2015年版移行完了 ・ 金型・プレス工場に無電極放電ランプ導入 |
| 2018 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会環境報告書2018(7版)」を発行 ・ 朝の10分間5S活動を開始 ・ ISO14001:2015年版 第五回更新完了 |
| 2019 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 加熱脱離質量分析装置導入 ・ 「社会環境報告書2019(8版)」を発行 |
| 2020 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会環境報告書2020(9版)」を発行 |

エムデンは地球温暖化防止のために取り組み続けます



編集後記

「社会環境報告書2021」をお読みいただき誠にありがとうございます。
ます。

環境報告書は2012年に初版を発行し、第5版目よりタイトルを
「社会環境報告書」に改め、今回で10版目を迎える事が出来まし
た。今回よりSDGsの取り組みも新たに掲載させていただきました。
今後も、企業の社会的責任に関する内容や環境保護活動に関する
情報まで、広く社会へ開示して皆様とのコミュニケーションを充
実させて参りたいと考えております。

引き続きのご愛顧ならびにご協力の程、何卒よろしくお願い致し
ます。

(社会環境報告書2021) 発行/2021年9月
対象期間：2020年度(2020.3.1~2021.2.28)

発行・連絡先
エムデン無線工業株式会社 総務部

〒252-0801 神奈川県藤沢市長後1277
TEL.0466(43)5111 FAX.0466(43)5110
URL:// <http://www.emuden.com/>